

広報

なかつえ

85/

9月号

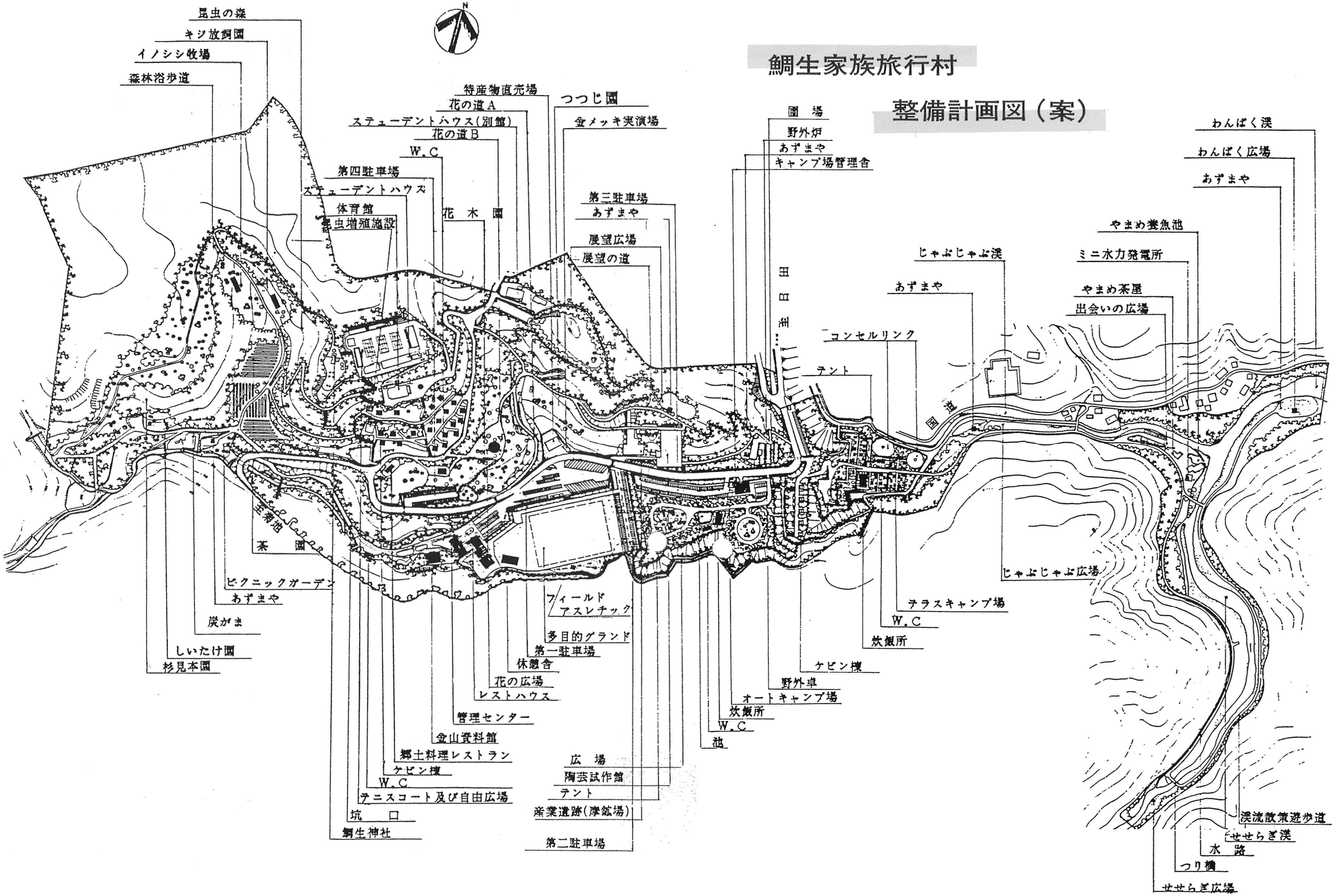
No.254

〈人口と世帯〉

8月末現在

()内は前月比

人口	1,765人(-6)
男	844人(-2)
女	921人(-4)
世帯数	553戸(-3)



鯛生家族旅行村

整備計画図(案)

魅力ある 家族旅行村

そして本村の活性化をめざして

今年度から工事着手

今年度予算 3,000万円

昭和六〇年度の主な事業の紹介の第三弾は、「家族旅行村整備事業」をとりあげます。

今年度の予算額は、川辺小学校改築事業、丸蔵地区簡易水道工事の額と比べたら、わずかなものですが、今年度から三年にわたり実施されますのでその概要を紹介します。

家族旅行村とは!!

家族旅行村は、最近とみに増えてきた家族旅行に対し、そこに泊まって親子ともども楽しめるような野外レクリエーションの場を考えたものです。

家族で楽しむかたちとしてはいろいろなものが考えられますが、この家族旅行村は、「自然の中で遊ぶ」という大きな特色をもっています。森の中の道を歩き、小川で魚をとり、山野で山菜を摘み、などということです。

全国で29カ所の旅行村

家族旅行村は、正式にいうと中規模観光レクリエーション地区といいますが、全国に一〇ヶ所オープンしています。現在、一九ヶ所が整備中ですので、昭和六二年度までに合計二九ヶ所

別記 I

家族旅行村事業計画

★補助事業分

・ピクニック緑地	75,750千円
花の広場・花の道	
展望の丘・出会の広場	
溪流歩道・あずまや	
・キャンプ場	120,000千円
オートキャンプ場	
テラスキャンプ場	
炊事棟・便所・園路	
管理舎	
・水処理施設	35,250千円
給水、汚水処理施設	
・廃棄物処理施設	4,500千円
・遊歩道	4,500千円
小 計	240,000千円

★補助対象外分(単独分)

・ピクニック緑地	183,350千円
展望の道・木工工房	
あずまや・便所 他	
・宿泊施設	105,000千円
スチューデントハウス	
ケビン・体育館(改修)	
・キャンプ場	62,430千円
車道・あずまや・ケビン	
園路・駐車場	
・遊歩道	48,000千円
・給電施設	8,000千円
・駐車場	10,000千円
・その他	3,220千円
小 計	420,000千円
合 計	660,000千円

注 この計画は実施段階で変更される可能性があります。

全ての人が恵まれた自然環境の中で手軽にレクリエーションが楽しめるように、また、地域振興に資するためのねらいがありますので、いずれも観光開発が進んでいない自然味豊かな地区につくられるものです。

別記II

ゾーン区分

家族づれや若者が自然を楽しみ、健全なレクリエーション活動ができる施設の配置を考え、次のとおりゾーン区分をする。

- 1、センターゾーン
区域の中心部にあり旅行村の総合的な管理運営のための中心になるゾーンで、グラウンド、駐車場、レストハウスなど旅行村利用者の催しの場、交流の場とする。
- 2、第1ピクニックゾーン
このゾーンは区域の中心部から西側にかけての斜面で、スギ、雑木の森を觀賞し、その中に入り森林浴を楽しむことができるようにする。
展望の丘、ピクニックガーデンなどを設け、農産物直販所で本村の産物を展示販売し、陶芸創作施設では、自らつくる喜びを味わうなど家族で楽しめるゾーンとする。
- 3、宿泊ゾーン
このゾーンは旧鯛生小学校から金山住宅の周辺で、小学校跡に合宿所(スチューデントハウス)を設置し、テラス状の住宅跡地をケビン村として整備する。
- 4、野外生活ゾーン
このゾーンは第3駐車場から下の地区で、野外生活を楽しむためのゾーンとし、オートキャンプ場やテラスキャンプ場を整備する。
- 5、第2ピクニックゾーン
このゾーンは鯛生川、後合川の合流点を中心とした地区で、水あそびや釣り、また散策などのため溪流あそびゾーンとする。
- 6、金山観光ゾーン
金山観光客のためのゾーンで、学習の場、観光の場とする。

旅行村の建設目的は？

鯛生家族旅行村の整備計画は、大分県総合振興計画及び本村の基本構想、基本計画にそれぞれ位置づけがされています。また、鯛生観光レクリエーション地区整備計画の基本方針に

は次のとおり書かれています。『中津江村はこれまで農林業が主体で、観光開発はきわめて遅れていたが、家族旅行村の整備を基軸に、地域の特性を生かした観光開発で、村づくりの活力をやしなひ、農業をはじめ、地域経済全体にその効果を広げていくこととする。』
このため、次の点を家族旅行村の基本方針として整備するものとする。

- ① 津江山系の中心的施設として家族旅行や小グループの旅行者が、自然を楽しみ木工や陶芸など「つくる喜び」を味わえる施設の整備をはかる。
 - ② ケビン、キャンプ場を中心とした整備を進め、スポーツ、溪流での遊び、釣など自然とのふれあいを重視した旅行村とする。
 - ③ 主として学生・生徒を対象にした合宿施設を整備し、運動広場の利用やハイキング・登山などのできる旅行村とする。
 - ④ 森林資源を利用して、家族づれで散策しながら、樹木の勉強や昆虫の採取を楽しみ、森林浴のできる旅行村とする。
- この基本方針に基づいて事業を実施するわけですが、敷地が四四ヘクタールもありますので、別記IIのとおりゾーンを決めて整備するようにしています。



展望台遊歩道(園地)工事着手

なお、具体的な計画は別表Iのとおりです。全体的な計画図は2、3ページにありますので、ご覧ください。

補助対象は基盤整備中心

この事業の補助対象分はほとんどが基盤整備中心ですので、いかに有効な単独事業、その他の補助事業を実施するかによって成否が決まるものと思います。

今年度の事業はピクニック緑地、給水施設の整備で工事費は三、〇〇〇万円、

その財源内訳は、国・県・村それぞれ1/3づつの負担になっており、現在、工事を実施しています。

予算もかなり必要ですので途中で、変更されることも考えられます。いずれにしても、予算を有効に使用し効果のあがるよう努めなければなりません。

旅行村の整備による農林業の活性化を！

中津江村の観光は、現在のところ鯛生金山一本です。

家族旅行村を整備することにより、本村の振興になるようにするとともに、特に、主幹産業である農林業の活性化に結びつくよう期待するものです。

鯛生金山への観光客が、今以上増加するということは現状のままでは望めないと考えられます。安心院町にあるアフリカンサファリの入場者は初年度二〇〇万人を越えたものの、現在では八〇万人から九〇万人になって維持しています。

工事は、今年からはじまりました。国の財政状況の変化により、三年間で終了しないかもしれません。工事中、大変ご迷惑をおかけすることと思えます。皆様方のご協力をお願いします。

一度訪れたら二度とはこないということでは、困りますので、また、行きたい。そして、何度も行きたい。という観光にすることが必要です。

また、ご意見、ご要望がございましたら、役場企画開発室までお寄せください。

また、通過するだけの観光がほとんどですので、これからは宿泊による観光ができるようにし、一日中、滞在中、大人から子どもまで、心から楽しめる観光地



ケビン群建設予定地

旅行村の1ゾーンとなる金山



オートキャンプ場
テラスキャンプ場建設予定地

鯛生家族旅行村での中心的施設となるのは、ケビンとオートキャンプ場、テラスキャンプ場です。

ケビンとは一口でいえば、貸別荘のことで、4～6人が1度に宿泊でき、食事もそこで作れるようになる宿泊施設のことです。

オートキャンプ場とは車をキャンプ場へ横づけができ、そこにテントを張ったり、ゆっくりとしたスペースをとることができるキャンプ場のことです。

また、テラスキャンプ場とは普通、一般のキャンプ場です。

人気のある家族旅行村

大分県 家族旅行村あじむ
愛媛県 久万高原家族旅行村

現在、開村している家族旅行村は、全国で一〇か所（青森、秋田、岩手、福島、茨城、長野、富山、島根、愛媛、大分各県にそれぞれ一か所）あります。最も早く、開村（営業）した地区の一つは大分県の家族旅行村あじむで、また一番新しく開村した地区の一つは愛媛県の久万高原家族旅行村で、それぞれ、昭和五七年、五九年にオープンしています。この二地区を紹介します。

温泉をかかえた家族旅行村あじむ（大分県）

家族旅行村あじむは、別府市の北西三〇キロ、安心院町の中心部から一キロのところであり、安心院盆地を見おろす高台に位置し、周囲の眺めが大変よいところです。

敷地は九〇ヘクタールもあり、森や原野、ぶどう園温泉センター、高校の実験農場などがその中に含まれます。敷地が九〇ヘクタールあるとはいふもの、かなりの民有地も含まれています。



↑家族旅行村あじむの管理センター

施設としては、キャンプ場、ケビン、バンガロー、球技場、テニスコート、ゲートボール場、フィールドアスレチック、遊歩道、体育館、プール、温泉センターなどがあり、その他として同敷地内にホテルもあります。この施設の中で、ケビンは町内の旅館業、またキャンプ場は民間会社が管理運

旅行村内にある温泉センター←



営しているので、旅行村としての収入はほとんどない状態で、ただ入村料がはいるのみということですが、ただ、この旅行村の特色は温泉センターがあり、入湯料が大きな収入源となっており、管理運営費の六〇％依存しています。

利用者は、日豊本線沿いの人がほとんどで、北九州からの利用者が七〇％占めていますので、本村の鯛生家族旅行村と競合しないものと思われれます。

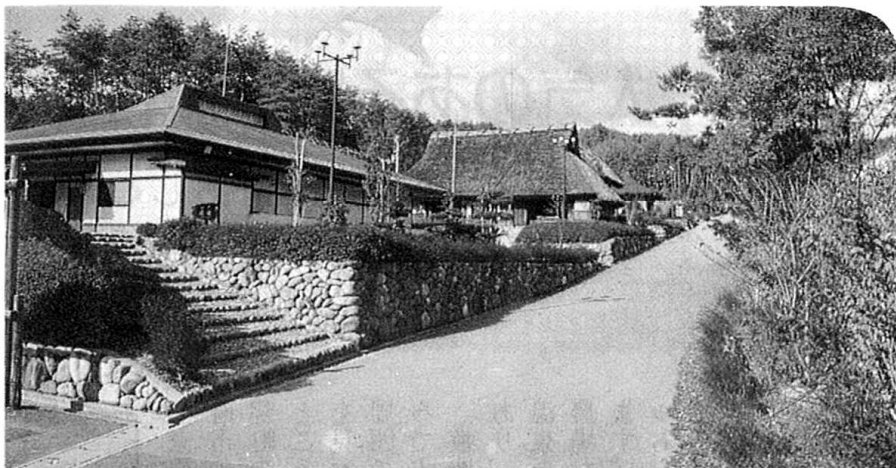
ふるさと村併設の久万高原家族旅行村（愛媛県）

愛媛県久万高原家族旅行村は松山市の東南三〇キロ、国道三三三線沿いの久万町中心部から、さらに東に四キロ入ったところであり、愛媛県と高知県との県境近くで、標高六〇〇メートルのところに位置しています。

一帯は四国山脈に囲まれたなだらかな丘陵地帯で、陽あたりのよい広場などでのんびりとでき、ケビンは木々の中に建てられ、林の中に常設されているテント

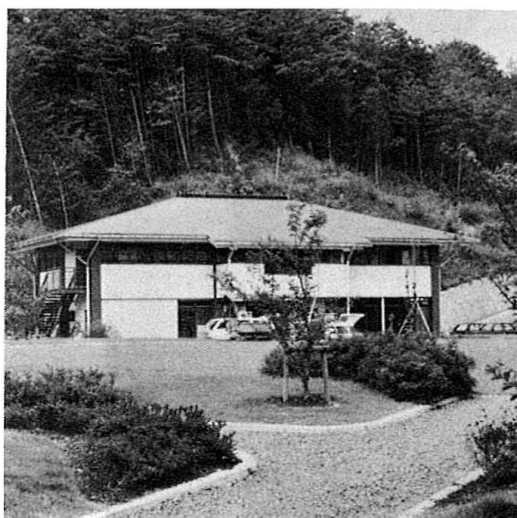
は板張りなので快適ということです。総面積は二五ヘクタールあります。

施設としては、キャンプ場、ケビン、広場、グラウンド等が主なものですが、この旅行村とふるさと村が併設され、その中には、休憩所（食堂）、つり堀、農林業体験実習館、歴史館、古い民家などがあります。この旅行村の収入源は大半が入村料で、ケビン、キャンプ場は直営でしていま



ふるさと村の山村歴史館と民家

予約でいっぱいのでケビン



久万高原家族旅行村の管理棟

すので、この使用料が入村料と併せて大きなものになっています。五九年度の入場者は約一八八、〇〇〇人で主に愛媛、高知、香川県の人々で占められています。

この久万高原家族旅行村は条件的には大変よいところで、夏場とその他の土曜日は予約で満ぱいであり、

その他はまあまあということだそうです。利用客からの要望として「一日中楽しめるようにしてほしい」「テニスコート、シャワー、プールなど近くにあって、いつでも利用できるようにしてほしい」などいろいろあるそうです。



家族で話し合おう 交通安全

自転車編

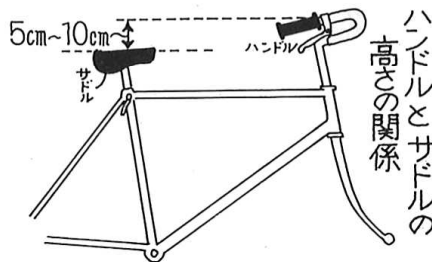
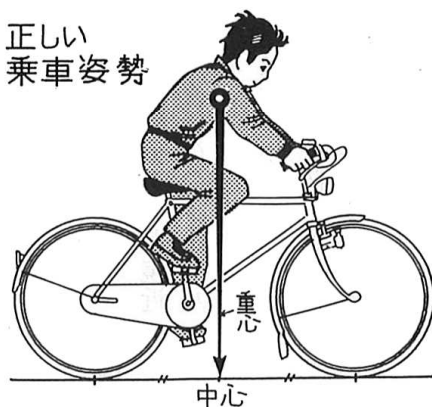
自転車を安全に乗りこなすためには、正しい姿勢で乗ることが大切です。では、どんな姿勢がよいのでしょうか。サドルにまたがって、両手でハンドルを持ったとき、上半身がハンドルの方向に少し傾くような姿勢です。

この姿勢だと、重心が自転車の中心にくるのでバランスがとりやすくなります。つまり、正しい姿勢で自転車に乗ることが安全運転の第一歩なのです。

そのためには、サドルとハンドルの高さの調整が必要です。もし、サドルに座ってみて、上体がまっすぐに立ったようになつたり、必要以上にかがみ込むようだったら、自転車店でサドルとハンドルの高さを正しく調整してもらいましょう。

正しい姿勢が
安全につながる

正しい
乗車姿勢



お元気ですか!!

9月15日敬老会開催される

70歳以上 253名

長寿ベスト34

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 矢野サキヲ (94) | 川 辺 |
| 2. 隈 カツノ (93) | 市の瀬 |
| 3. 魚形 トラ (93) | 栃 原 |
| 4. 栗原 寿市 (92) | 黒 谷 |
| 5. 石貫 竜市 (92) | 川 辺 |
| 6. 森脇千代一 (91) | 池 田 |
| 7. 猪野 司 (90) | 丸 蔵 |
| 8. 高木トシノ (90) | 栃 原 |
| 9. 川野 顕義 (90) | 野 田 |
| 10. 石貫ミキヨ (89) | 田の原 |
| 11. 清水 ツ子 (89) | 黒 谷 |
| 12. 栗原 シズ (89) | 田の原 |
| 13. 猪野 到 (89) | 丸 蔵 |
| 14. 高木 元雄 (88) | スダレ |
| 15. 栗原 ナツ (88) | 吉 原 |
| 16. 津江 サメ (88) | 二 又 |
| 17. 猪野イソノ (88) | 丸 蔵 |
| 18. 杉野 寛吉 (88) | 辛 味 |
| 19. 栗原 チヨ (87) | 宮 田 |
| 20. 宮木 豊 (87) | 下 切 |
| 21. 斉藤 彦市 (87) | 市の瀬 |
| 22. 清水 秀吉 (86) | 八 所 |
| 23. 坂本 市次 (86) | 八 所 |
| 24. 武原 トラ (86) | 田の口 |
| 25. 立花 イエ (86) | 地藏元 |
| 26. 塚本ヤエカ (86) | 池 田 |
| 27. 永瀬ケサヲ (86) | 原 |
| 28. 林 ムメ (85) | 野 田 |
| 29. 井上ツタエ (85) | 八 所 |
| 30. 斉藤シツエ (85) | 市の瀬 |
| 31. 桑鶴マツヨ (85) | 中川内 |
| 32. 藤原喜代太郎(85) | 下 切 |
| 33. 松尾 守 (85) | 八 所 |
| 34. 松野 改祐 (85) | 井千原 |

9月15日、鯛生、丸蔵、川辺、野田の各地区で役場と婦人会共催で敬老会が開催されました。

各地区それぞれ、婦人会の方々が趣きをこらし、接待にあたっていました。料理は四地区とも同じもので婦人会の出し物(踊り)に拍手かっさいの一幕もありました。酒の量が増えるにつれて、あちこちにかたまりができ、にこやかに杯のやりとりをしていました。

村内には70歳以上の方が253人おり、85歳以上の方は、別表長寿表にありますように34名います。

女性の方の長寿者が多いものですが、本村では総人口を加味するとあまり大差がないように思えます。

高令者の方々は、現在の中津江村を築いた方で、まだ、現役の方も多くいらっしゃいます。

長寿表にのっている方が、また来年ものるように、そして、敬老会に出席された方が、来年も元気に出席できますようお祈りします。







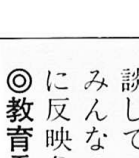
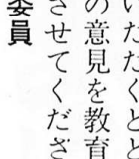
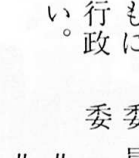
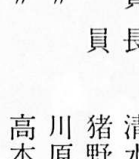


丸蔵地区の敬老会



鯛生地区の敬老会

●運動で100カロリー消費するには.....

歩 行		20~30分
速 歩		15~20分
ジョギング		7~15分
登 山		10~20分
サイクリング		17~40分
水 泳		7~17分
なわとび		5~10分
卓 球		17~30分
ゴ ル フ		24~30分
ラジオ体操		20~30分

秋と健康

体力づくりの好季節

積極的に運動を!!

今年に残暑が厳しく、そして長く続きました。体の不調を訴える方も多いのではないかと思います。これからは秋、読書の秋、食欲の秋などといろいろと表現されます。

さわやかな秋は体をきたえるのに最も適したシーズンです。家族そろってのハイキングやサイクリングまた、魚つりなどは自然と親しみながら体力づくりに役立ちます。また、ジョギングやテニス、野球、ミニバレーボールなど家族で、汗を流し、励ましたり大声で笑い合えるファミリースポーツ

1日は健康と明るい家庭をつくりまします。

1日に200~300カロリーの運動を

運動不足病(?)を追放し、いつまでも元気でいるためには、日常運動をつづけることが大切です。

健康を維持する運動量のめやすを、青年男子で二、五〇〇カロリー、女子で二、〇〇〇カロリーの分のエネルギー消費が必要だと考えられています。最近では一般に肉体労働が軽減されてきたために、軽い労働をしている男子では一日二、二〇

ご存知ですか

〇カロリー、女子では一、八〇〇カロリーしかエネルギーを消費してないので、残りの二〇〇~三〇〇カロリーを運動で消費する必要があります。わたしたちが実際に運動のために使える時間は、人

によってちがいますが、ふつう一日に一時間程度とかわれます。一時間歩くと約二四〇カロリーを消費する運動になり、ジョギングでは三〇分で二四〇カロリーとなりまします。

教育関係の委員

◎社会教育委員(兼公民館運営審議会員)

委員長 清水 新八
委員 登 谷 直

教育をみんなの手で進めるため、教育委員をはじめ、各種の委員の方々がいます。委員さんには誰がなっているか、知らないという方も多数おられると思いますので、ご紹介します。

教育全般、社会教育、公民館、文化財、社会体育の分野にそれぞれ委員

さんがいますので、ご相談していただくとともにみんなの意見を教育行政に反映させてください。

◎教育委員

委員長 北村 末男
副委員長 武原 保
委員 池辺 弘
委員 田島 美砂
委員 佐藤誠一郎

◎体育指導員

高木 邦彦
中原 好美
松並 好美
森脇 大助
高本 大助

◎文化財調査委員

委員長 清水 新八
委員 猪野 到
委員 川原多豆夫

委員 石貫 末広
委員 猪野 仙治
委員 松並 好美

委員 田島 孝男
委員 川野佐代子
委員 川津 桂男

委員 中元 直
委員 洪谷 登

教育長 佐藤誠一郎

教育委員 高木 邦彦

なんだシリーズ

教育ってなんだ!! (1)

「灯台下暗し」ということわざがありますが、その意味は広辞苑によると「灯台（燭台）の直下は、あかりが暗いように、身近な事情はかえってわかりにくいものであることのたとえ」とあります。

さて、学校は社会の縮図的な組織が成り立ち、教室の中は十分に将来の社会について考える場、相互の立場を理解しながら自己の生き方をとらえ、見直し、伸ばしていく大切な教育の場であると思います。

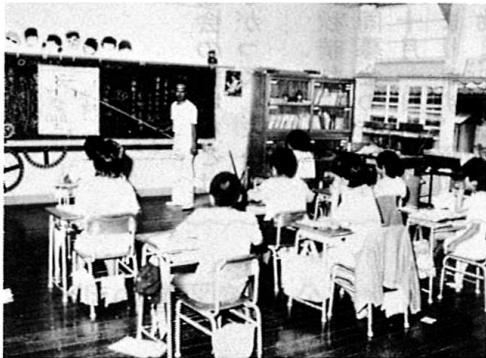
自己の生き方とは、人から与えられるものではなく、日常生活の中から経験を積み、見出し、生み出していくものであろうと思います。

さらに、学校での日々の生活はもちろんのこと、中津江村に生きる子どもたちです。中津江村の人々の生活の中からも、自らの

生き方を見い出さなくてはなりません。したがって中津江村の社会を担う人々の責任も重大であるといえます。

しかしながら、教室の中では旧態依然として、画一的な、教科一辺倒の知育偏重の教育が行なわれていることは否めません。

また、「先生、うちん子は算数はいい、いっちょよるじゃろか」「いっちょん手を挙げんけど、わかっちゃうじゃろか」「漢字もいっちょん覚えちよらんごつある。」等々：父母の方々の声からすると、どうやら父母の方々が即よい子と思われている気がして



教室の授業風景

なりません。

このような学校社会や地域社会の中で成長していく子どもにとって、大人になって、何が、どれだけ社会に通用するのでしょうか。あすの中津江村を担う人に成長するのでしょうか。

私は否と考えています。私が冒頭に書いた「灯台下暗し」の意味は、今の子どもたちにとつて自分の生活の基盤である、この中津江村のことをよく知り、中津江村の人々の生き様を体で学びとらなくてはならないということです。

今は、その足下が暗いのです。たとえば、宮園神社のもちつきまつりは知っているものの、（中には知らない子もいるが）なぜ、小麦の新穀を三斗三升三合つくのかという意味を子どもたちは知っているかという事です。

その中にこめられた祖先の人々の時代を生きぬく息吹

を体感し、中津江村の文化財（歴史）に対する、あるいは祖先の人々の生き様に対し、畏敬の念をいだき、ひいては、郷土を愛する心が生まれくるかということです。

子どもたちは、自分の身の回りの山、川、平地などの関係、そして人間関係の中から自己の生き方を見出し、足下暗しではないかと思いきや、足下明しでなくては！！「えれえな昔から人が中

津江村に住んじよったんね。「中津江村にも歴史があるんやね」という驚きの声を耳にするとき、私はいつも、学校教育も社会教育も足下から出発だと思っております。

今回から、川辺小学校の森川克則先生の「教育ってなんだ」を連載します。ご意見、ご感想がございましたら広報係までお寄せください。

10月19日 開催

秋まつり —商工会青年部—

中津江村商工会青年部が秋まつりを実施します。このまつりの趣旨は、青年部が何か村の活性化に役立つものを、また、青年部の方が子どもころ経験したまつりを、ふるさとの喜びを味わったことのない子どもに喜びを味わってもらおうと企画したものです。

- 日時 10月19日(土)
- 場所 栃原公園(老人福祉センター下)
- 催し物 福引抽選会、ゲートボール大会、すもう大会、金魚すくい、ちゃんこ鍋、その他出店

歳時記

秋晴れ

ようやく涼風がたちはじめたので、さわやかな秋晴れを期待していたのに、意外に天気の良い日が多くて、がっかりすることがあります。

実は、秋は天気の悪い日が案外多いのです。地域によっては、梅雨期の六月と同じくらいの「雨の日」を記録するところもあります。

「男心と秋の空」とか、「女心と秋の空」とか言います。どちらが本当かは知りませんが、ともかく秋の空は、変わりやすく、不安定なのです。

ほんとうにさわやかな秋晴れの日が多くなるのは、秋と言っても晩秋です。晴れの特異日として、もっとも有名なのは、十一月三日の文化の日です。東京を例にとると、二十年間で、この日に雨が降ったのは、一回きりです。このほか、秋晴れの特異日として知られているのが十月の十六日と二十三日。この日

に限って運動会の会場などは、早ばやとふさがってしまうようです。

ところで、秋晴れによく似合うのが、共同募金の赤い羽根。今年も、十月一日から、街頭募金が始まります。昭和二十二年から始まったこの行事も、今年で三十九回目になります。昨年の街頭募金の金額はおよそ四億五千万円です。高齢化社会を迎えて、こうした行事の意義はますます大きくなります。みんなで、協力したいものです。



自動車税納税相談所
を開設します

自動車税について、おかしいとか納税に苦労しているとかお悩みの方に対し、納税相談所を下記のとおり開設しますのでご利用ください。

- 1. 日 時 10月23日 9時～16時
- 2. 場 所 大山町役場
- 3. 問い合わせ 日田県税事務所
Tel 22-4175



行政相談所を開設します

国や県、村、公社などの仕事について、苦情や意見、要望があるが、どこに行けば、また、言えばよいかとお考えの方はいろいろな方のため行政相談所を下記のとおり開設しますので、お気軽においでください。相談内容はどんなことでも結構です。相談無料で、**秘**処理をいたします。

- 1. 日 時 10月19日 8:30～12:00
- 2. 場 所 中津江村中央公民館
- 3. 相談員 清水新八氏（引野）
Tel 54-3627

公民館図書の利用を！

秋の夜長を読書ですごしてみませんか。

公民館では 3,000冊の図書を公民館図書室に用意しています。一般向の教養、推理小説、文学書、児童図書などバラエティーに富んだ新刊書も豊富に揃えています。

また、県立図書館の移動図書も入替えていますので、ご利用ください。

貸出期間は2週間で、村民の方ならだれでも利用できます。詳しいことについては、公民館までお問い合わせください。

雑記

今年の夏は、暑くて残暑厳しいものでした。

この分では、冬もまた、厳しいものになりそうな気がします。常夏ではなく常春常秋であればいいと願うものです。

しかし、四季があるがゆえに、春夏秋冬それぞれのよさがわかるものかもしれない。

これからは季節の変わり目、くれぐれも、健康に留意してください。

運動会の
写真募集

運動会の写真を募集します。

運動会でのお子様の写真、傑作写真がありましたら、写真の裏に住所、氏名をご記入のうえ、役場広報係までお寄せください。

「ザ・運動会」で特集を組みたいと思います。なお、**切**は十月十五日までです。